リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫･改善】

都城市立姫城中学校（宮崎県）【指定校】

【GIGA×指導の工夫･改善】生徒の主体的な学習を目指したＩＣＴ活用の実践

＜考察＞

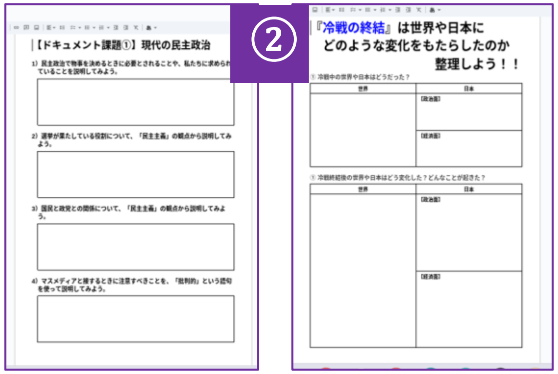
社会科において複線型の授業を目指した。

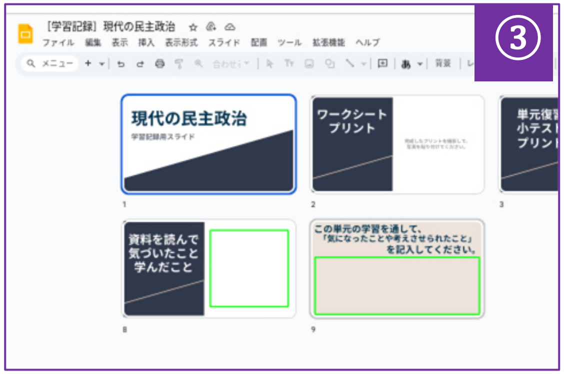
課題の提示はGoogleクラスルームで行った。取り組む内容や配点、学習方法、活動時数などを示し、資料やワークシートを添付した。【写真①】

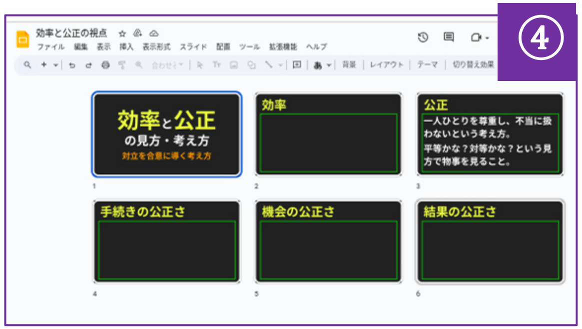
ワークシートは、以下のアプリまたは紙媒体を生徒が選択し、課題に応じて活用した。

・Google ドキュメント【写真②】
・Google スライド【写真③④】
・オンラインホワイトボード
・紙媒体によるワークシート

必要な情報を必要な時に生徒が活用でき、それぞれの進度にあった学習が可能になった。生徒の学習の進捗状況を常に確認できるので、つまづきが見られる生徒に適宜指導することができた。

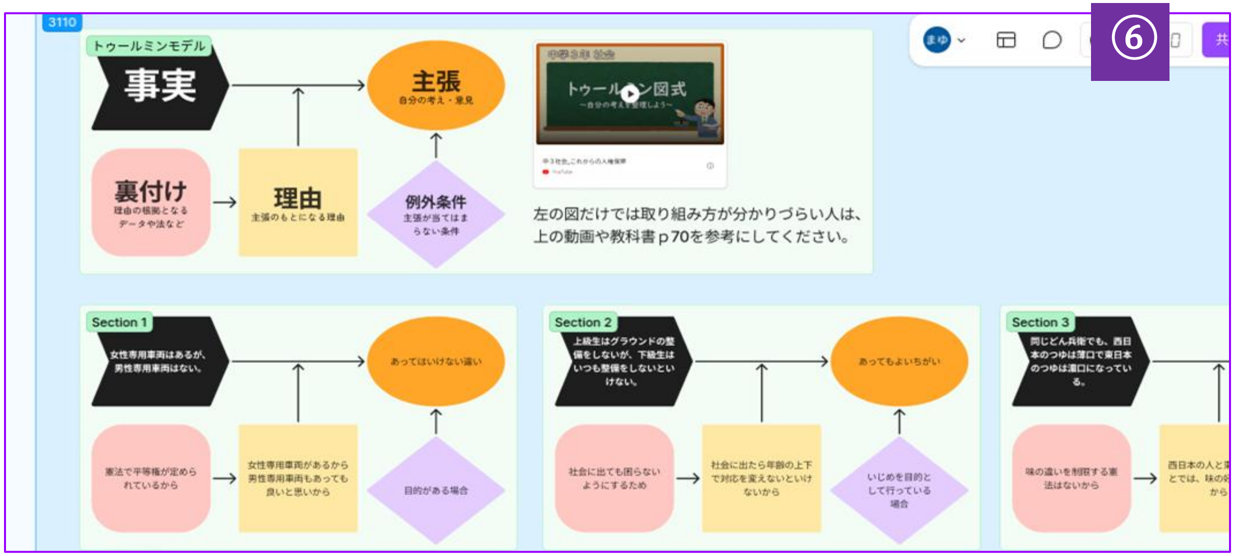






【GIGA×指導の工夫･改善】生徒の主体的な学習を目指したＩＣＴ活用の実践

＜考察＞

社会科の授業ではオンラインホワイトボードを活用し、生徒が自ら選んだ方法で、他者参照しながら進めた。グループごとにセッションを作り、話し合いながら意見をまとめていた。【写真⑤】

トゥールミンモデルは自分の主張を裏付ける根拠を調べるなどして個人の考えを深めるための思考ツールである。オンラインホワイトボード上で生徒が思考しているため、進捗状況が分かり、個別の指導を要する生徒への対応を適宜することができた。また、他者参照しながら、思考の手助けとすることができた。【写真⑥】